

D7 深層インタラクション

インタラクションを血液で調べる

※ インタラクション(interaction)
ここでは、人とロボットとの相互作用として使用しています。

概要

気分や感情を調べるには、今までは質問票を主に使用していました。近年、気分や感情は生体内のホルモンをはじめとした分子の変化により変調をきたすことが明らかになりました。今回は、血液中のホルモンを測定することによって見えてくる気分や感情、身体的な変化について紹介します。

特徴

- 血液からホルモンや免疫関連物質、酸化ストレスに関連する物質が測定できます。今回は、実験前後で採取した血液サンプルをもとに測定したコルチゾール、オキシトシン、成長ホルモンについて紹介します。
- コルチゾール： ストレスホルモンの1つ。ストレスを感じると分泌が増える。
- オキシトシン： 最初は出産や授乳に関与するホルモンとして発見。近年は、幸せホルモンとして注目されている。
- 成長ホルモン： 体の成長を促進し、代謝を活性化したり細胞を修復する。筋力アップやアンチエイジングにも効果がある。

今後の展開

- 血液中の物質は、日常生活における心理的・身体的な影響によって変化しています。今後は質問票との相関性や性格との関連についても調査し、人の個性と生体内の物質の変化について研究を進めてまいります。

テーマ「万博、そしてその先へ ～科学技術が描く未来～」との関連

- 日常生活や社会の中で受ける様々なストレスには、個人差があります。その個人差に基づく健康指標の確立に貢献できるよう、研究を進めてまいります。

